

東京都知事

小池百合子様

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の
早期事業化について（要望）

平成29年2月6日

瑞穂町
瑞穂町議会

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の早期事業化 について（要望）

立春の節、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素、瑞穂町の行政運営につきまして、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、統計では通勤・通学等により、毎日2万3千人以上が瑞穂町に出入りしております。さらに、町では、殿ヶ谷、箱根ヶ崎駅西の2地区の土地区画整理事業等による商工業・居住施設の誘導を図るための整備を着々と進めるとともに、栗原地区の事業認可に向け、基本計画を作成しております。また、殿ヶ谷地区への大型商業施設の進出のほか、町内最大企業の施設拡充も進められており、今後更に交通需要が増えるものと考えられます。しかしながら、町を東西に横断する鉄道はなく、唯一のJR八高線は運行本数や車両の数が少なく、単線であるため増発等も困難であり、同線のみでは通勤・通学など住民の交通手段として十分とはいえない状況にあります。

多摩都市モノレールは、各種営業努力により1日平均乗客数も8年連続で12万人を上回り、4年連続の前年度比増となり、昨年ついに乗車数が13万人を超え、地域住民の足として定着してきたことは喜ばしいことでもあります。

さらに、新青梅街道拡幅再整備事業も進められ、沿道の都市計画の変更も見据えたまちづくり計画の推進など、多摩都市モノレール延伸に向けた機運も高まり、町民は箱根ヶ崎方面への延伸早期実現につながることを大きな期待を寄せております。

このような中、昨年4月に、国の交通政策審議会から「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」が答申され、「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」の一つに、多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面延伸が位置付けられました。答申内容に沿って、昨年8月には「多摩都市モノレール（箱根ヶ崎方面）連絡調整会議」が設置され、現在協議が進められています。

多摩都市モノレールの延伸は、多摩地域の軌道系交通ネットワークが充実し、地域の交通利便性が格段に向上することにより人の交流や地域の発展に大きく寄与するとともに、環境負荷の低減に寄与するものと確信しております。早期事業化について、引き続き強力に推進されることを要望いたします。

平成29年2月6日

東京都西多摩郡瑞穂町

瑞穂町長 石塚 幸右衛門

瑞穂町議会

議長 高水 永雄

瑞穂町議会交通対策特別委員会

委員長 原 成兆